

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
22000	X-13-B-1-220009	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×
経営と組織	内田 亨			【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	必修	1年	
		【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	必修	1年			

授業目的

本講義では、経営学全般や組織論についての基礎理論および現代企業の管理手法等を習得する。また、組織体（含非営利組織）は組織をどのようにマネジメントしているか、基本的なことを理解する。

こうしたことを学ぶことによって「健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決に当たることができる」人物像を目指す。

各回毎の授業内容

第1回

【授】イントロダクション（ガイダンス、経営学とは）
【前・後】当日配布資料の復習をする。予習復習に4時間

第2回

【授】企業・組織の仕組み
【前・後】事前配布資料に目を通す。当日配布資料の復習をする。予習復習に4時間

第3回

【授】経営理念、企業の社会的責任（CSR）
【前・後】興味のある企業・組織の経営理念を探索しておく。予習復習に4時間

第4回

【授】人材（人材開発、人材戦略）とは
【前・後】アルバイト先、公認団体、同好会等、身近な例から授業で習った視点で見てみる。予習復習に4時間

第5回

【授】第1部 組織論の枠組み I 組織とは
【前・後】興味のある企業・組織の組織図を調べてみる。予習復習に4時間

第6回

【授】第1部 組織論の枠組み I 組織とは（つづき）
【前・後】アルバイト先、公認団体、同好会等、身近な例から組織図を作ってみる。予習復習に4時間

第7回

【授】第1部 組織論の枠組み II 組織のダイナミクス
【前・後】事前配布資料に目を通す。当日配布資料の復習をする。予習復習に4時間

第8回

【授】第1部 組織論の枠組み II 組織のダイナミクス（つづき）
【前・後】事前配布資料に目を通す。当日配布資料の復習をする。予習復習に4時間

第9回

【授】第4部 組織レベル I 組織デザイン
【前・後】アルバイト先、公認団体、同好会等、身近な例から授業で習った視点で見てみる。予習復習に4時間

第10回

【授】第4部 組織レベル II 組織文化
【前・後】アルバイト先、公認団体、同好会等、身近な例の組織文化とはいかなるものか考えてみる。予習復習に4時間

第11回

【授】第4部 組織レベル II 組織文化（つづき）
【前・後】資料に目を通す。当日配布資料の復習をする。予習復習に4時間。

第12回

【授】応用試験
【前・後】事前配布試験問題の答案を作成する。予習復習に4時間。

第13回

【授】第5部 組織変革 I 危機管理
【前・後】アルバイト先、公認団体、同好会等、身近な例のコンプライアンス違反をあげてみる。予習復習に4時間

第14回

【授】第5部 組織変革 II 人的資源管理
【前・後】事前配布資料に目を通す。当日配布資料の復習をする。予習復習に4時間

第15回

【授】第5部 組織変革 III 変革の理論と実際
【前・後】最近のダイバーシティマネジメントにはどんなものがあるか調べてみる。予習復習に4時間

第16回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							5
授業態度・授業への参加							30
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							65

・ 応用試験（小論文 A4両面1枚、全て持ち込み不可）：65%、授業への参加：30%、期末レポート：5%

第14回、第15回の授業中に応用試験の優秀答案を公表し、説明する。

教科書参考書

参考書：田尾雅夫（2010）『よくわかる組織論（やわらかアカデミズム・わかるシリーズ）』ミネルヴァ書房。

受講に当たっての留意事項

- ・ 受講生の授業の理解度について、応用試験によって確認する。なお応用試験は、小論文形式のため普段から文章を書けるようにしておくこと。
- ・ 授業中指名し、こたえられなければ授業への参加ポイントを付与されない。

学習到達目標

- ・ 組織論における基本的な知識（組織論の枠組み、組織レベル、組織変革など）を理解する（授業態度・授業への参加：30%）。
- ・ 組織論の理論やキーワードを使って、組織体のマネジメントについて、課題抽出・分析・考察ができるようになる（応用試験：65%、期末レポート5%）。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習